

愛称決選投票

投票期間 令和8年2月1日（日）～2月28日（土）

りんくすぱーく くき LINKSパーク久喜

この愛称に込められた想い

水と緑と街が調和した豊かな環境を守り、育て、未来につなぐまち「久喜」。
私は「つなぐ（LINK：リンク）」という言葉が好きです。
水と緑を、人々を、技術を、思いを、過去から未来へ。多くの方が利用し、様々な人たちが色々な形でつながってほしい。

「LINKS（つなぐ）パーク久喜」にはそんな思いを込めました。

くきてらす

この愛称に込められた想い

「久喜」「テラス」「照らす」を掛け合わせた愛称です。

「テラス」は丘・高台という意味があり、公園とつながる丘の風景が連想できます。

また、市民の健康と笑顔、交流と憩い、久喜市の成長と未来を明るく「照らす」施設という意味を込めました。

やさしさ・ぬくもり・親しみやすさが感じられるようひらがな表記にしています。

最終候補 5作品

ぬくもりあ くき Nukumoria KUKI

この愛称に込められた想い

余熱を利用する施設であることや、緑の公園に様々な人が集う場所であることから、あたたかみのある名称がいいと考えました。

誰にとっても、親しみやすいようアルファベット表記にしています。

活力が沸いたり、癒されたり、市民の憩いの場になることを願っています。

久喜フォレルパーク

この愛称に込められた想い

「久喜フォレルパーク」という名前には、森（Forest：フォレスト）と健康（Wellness：ウェルネス）、そして余熱利用の循環（Loop：ループ）を意味する想いを込めました。

「フォレル」とは、「Forest（フォレスト：森）」+「Well（ウェル：健やかさ・健康）」+「Loop（ループ：循環）」をまとめて表す造語です。

自然と人とエネルギーが調和し、だれもが笑顔で集まる久喜市の新しいシンボルとして、市民に親しまれる拠点となることを願っています。

フォレルの音の響きと「惚れる」の音の響きをかけて、みんなが惚れるような最先端で人にも環境にも優しい公園になる、という想いも密かに込めています。

かがりば くき

KAGARIBA久喜

この愛称に込められた想い

「集いの光」 古来より、人々は「篝火（かがりび）」の周りに集い、暖をとり、語り合い、共同体を育んできました。
「KAGARIBA久喜」は、まさにその現代版です。温浴施設の温もり、公園の賑わい、そして人々の笑顔。それら全てが、人々を惹きつけ、世代を超えた交流を生み出す、温かな「集いの光」となることを象徴しています。

「再生の炎」 一般的には敬遠されがちなごみ処理施設の「火」。その火を、忌避されるべきものから、街にエネルギーを与え、人々を癒す「再生の炎」へと意味を転換させました。暮らしの中から生まれたものが、形を変えて再び暮らしを豊かにする。この施設がマイナスをプラスに変える「再生と循環のシンボル」であることを「KAGARIBA」という言葉に託しています。

「希望の灯火」 モダンで力強いローマ字の「KAGARIBA」と、歴史と安心感を宿す漢字の「久喜」。この組み合わせは、施設の先進性と、この地にしっかりと根差した存在であることを示しています。

この「KAGARIBA久喜」が、久喜市の新たな誇りとなり、未来へと向かう街の歩みを明るく照らし続ける、希望の灯火（ともしび）となるよう、心からの願いを込めています。

投票する作品
(いずれか一つに)

- Nukumoria KUKI KAGARIBA久喜 くきてらす
 久喜フォレルパーク LINKSパーク久喜



電子申請での
投票は
こちら

住 所

氏 名

※決定した愛称は表記を調整して使用させていただく場合があります。

※1人1票です。※住所・氏名が未記入の場合、投票は無効です。※個人情報は投票以外の用途には使用しません。

<参考> R7.8 愛称募集要領 2施設の特徴

『余熱利用施設』は、エネルギーを有効活用し、心身の健康づくりやリフレッシュに適した温水プールや温浴施設をはじめ、誰もが気軽に運動できるトレーニングジムやフィットネススタジオ、また会議や各種教室など目的に合わせてフレキシブルに利用ができる多目的室などを整備することにより、幅広い世代の方々にとって、健康増進と新たなコミュニティ形成の場となることを目指します。



『公園』は、久喜市出身の林学博士で、“日本の公園の父”と称される本多静六博士を顕彰する森をはじめ、みなが一緒に遊べる、何度も足を運びたくなるような遊具、丘のような起伏も楽ししながら体力づくりができるランニング・ウォーキングコースなど、たくさん緑や自然に囲まれながら、誰もが心地よく過ごせる憩いの場となるよう整備を進めています。



このように、それぞれの施設が機能を補完、相互利用しながら、その相乗効果を最大限に発揮できるような一体性を持ち、この場所でなければ味わえない、一つの場所でいくつもの楽しみを体験できる交流・余暇の拠点として、全国的にも類を見ない特徴的な施設となります。